



平成 21 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 8 月 1 日

株式会社 静岡中央銀行

(URL <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp>)

本社所在地都道府県 静岡県

代 表 者 取締役社長 奥田 一

問合せ先責任者 取締役経営管理部長 林 道弘

T E L : (055) 962-6113

(百万円未満、少数点第 1 位未満は切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期 第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(% 表示は対前年同四半期増減率)

(1) 連結経営成績

	経常収益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	3,180	(5.9)	610	(△16.2)	327	(345.5)
20 年 3 月期第 1 四半期	3,002	(5.0)	728	(17.8)	73	(△80.3)
20 年 3 月期	13,836		1,778		628	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 1 四半期	13	65	—	
20 年 3 月期第 1 四半期	3	06	—	
20 年 3 月期	26	17	—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21 年 3 月期第 1 四半期	495,239	31,610	6.3	1,317	08
20 年 3 月期第 1 四半期	486,285	34,409	7.0	1,433	72
20 年 3 月期	486,976	31,152	6.3	1,298	00

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分) を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）【参考】

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月16日公表値から変更ございません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	6,210	(△18.8)	1,070	(△33.4)	610	(10.5)	25	41
通期	12,420	(△10.2)	1,820	(2.3)	1,070	(70.3)	44	58

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は3ページ【定性情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しておりますが、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の経営成績につきましては、収益面は、中小企業向けや、住宅ローンを中心とした貸出金の増加により資金運用収益が前年同期比 66 百万円増収となったことに加え、国債等債券売却益や株式等売却益の増加により、連結経常収益は前年同期比 1 億 78 百万円増収の 31 億 80 百万円となりました。費用面は、預金利息の増加により資金運用費用が増加したことに加え、債券売却損が増加したこと等により、連結経常費用は前年同期比 2 億 96 百万円増加の 25 億 70 百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比 1 億 18 百万円減益の 6 億 10 百万円となりました。連結四半期純利益につきましては、特別損失の減少により前年同期比 2 億 54 百万円増益の 3 億 27 百万円となりました。

(参考)「単体」の経常収益は 31 億 57 百万円、経常利益は 5 億 99 百万円、四半期純利益は 3 億 17 百万円となり、銀行の本業の実質的な利益を示すコア業務純益は、前年同期比 67 百万円減益の 6 億 41 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期における総資産は、前年同期比 89 億 53 百万円増加し 4,952 億 39 百万円となり、純資産は前年同期比 27 億 99 百万円減少し 316 億 10 百万円となりました。

貸出金は中小企業向けや住宅ローンを中心に前年同期比 172 億 5 百万円増加し 3,933 億 59 百万円となり、預金は個人預金を中心に前年同期比 93 億 95 百万円増加し 4,526 億 12 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 5 月 16 日に公表した業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ございません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、一部「簡便な手続き」を採用して四半期財務・業容の概況を作成しております。

なお、四半期財務・業容の概況に関する計数は、監査法人の監査を受けておりません。

【簡便な手続きの内容】

①貸倒引当金の計上基準

平成 20 年 6 月末時点における債務者区分をベースとし、平成 20 年 3 月末から平成 20 年 6 月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行った平成 20 年 6 月末残高に対し、平成 20 年 3 月期に適用した貸倒実績率等に基づき計上しております。

②法人税等の計上基準

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

変更ございません。

比較四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (A) (平成21年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (B) (平成20年3月期 第1四半期末)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成20年3月期
(資産の部)				
現金預け金	12,679	14,239	△1,560	19,283
コールローン及び買入手形	9,700	18,100	△8,400	3,000
買入金銭債権	—	—	—	—
有価証券	70,427	70,750	△322	66,157
貸出金	393,359	376,154	17,205	389,392
その他資産	1,301	1,476	△175	1,171
有形固定資産	9,427	9,061	365	9,204
無形固定資産	384	357	26	404
繰延税金資産	2,375	—	2,375	2,799
支払承諾見返	662	790	△127	658
貸倒引当金	△5,077	△4,643	△433	△5,095
資産の部合計	495,239	486,285	8,953	486,976
(負債の部)				
預金	452,612	443,217	9,395	444,769
その他負債	5,809	3,109	2,699	5,426
賞与引当金	253	248	5	475
役員賞与引当金	—	—	—	45
退職給付引当金	1,507	1,615	△108	1,530
役員退職慰労引当金	469	575	△106	636
睡眠預金払戻損失引当金	14	—	14	14
偶発損失引当金	34	—	34	21
繰延税金負債	—	45	△45	—
再評価に係る繰延税金負債	2,265	2,273	△8	2,245
支払承諾	662	790	△127	658
負債の部合計	463,629	451,876	11,753	455,824
(純資産の部)				
(株主資本)				
資本金	2,000	2,000	—	2,000
資本剰余金	0	0	—	0
利益剰余金	26,060	25,254	806	25,792
株主資本合計	28,061	27,255	806	27,794
(評価・換算差額等)				
その他有価証券評価差額金	55	3,597	△3,542	△154
土地再評価差額金	3,492	3,556	△63	3,512
評価・換算差額等合計	3,548	7,153	△3,605	3,358
純資産の部合計	31,610	34,409	△2,799	31,152
負債及び純資産の部合計	495,239	486,285	8,953	486,976

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

比較四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (A) (平成21年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (B) (平成20年3月期 第1四半期)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成20年3月期
経常収益	3,180	3,002	178	13,836
資金運用収益	2,777	2,711	66	10,964
（うち貸出金利息）	(2,509)	(2,415)	(94)	(9,949)
（うち有価証券利息配当金）	(257)	(271)	(13)	(943)
役務取引等収益	247	275	△27	1,007
その他業務収益	5	1	4	423
その他経常収益	149	13	135	1,441
経常費用	2,570	2,273	296	12,058
資金調達費用	403	308	95	1,406
（うち預金利息）	(402)	(307)	(95)	(1,405)
役務取引等費用	200	180	20	627
その他業務費用	117	—	117	557
営業経費	1,796	1,778	18	7,014
その他経常費用	52	6	46	2,452
経常利益	610	728	△118	1,778
特別利益	21	37	△15	10
特別損失	0	555	△555	591
税金等調整前四半期(当期)純利益	631	210	421	1,196
法人税・住民税及び事業税	14	136	—	1,042
法人税等調整額	289	—	—	△473
四半期(当期)純利益	327	73	254	628

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 平成20年3月期第1四半期の法人税等の計算基準は、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により算出しており、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

四半期 連結株主資本等変動計算書

当四半期（自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	株主資本			株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
平成 20 年 3 月 31 日残高	2,000	0	25,792	27,794
当四半期中の変動額				
剰余金の配当			△60	△60
四半期純利益			327	327
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額（純額）				
当四半期中の変動額合計			267	267
平成 20 年 6 月 30 日残高	2,000	0	26,060	28,061

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成 20 年 3 月 31 日残高	△154	3,512	3,358	31,152
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△60
四半期純利益				327
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額（純額）	209	△19	190	190
当四半期中の変動額合計	209	△19	190	457
平成 20 年 6 月 30 日残高	55	3,492	3,548	31,610

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント情報

（1）事業の種類別セグメント情報

連結会社は銀行業以外に一部不動産、保証業務等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

（2）所在別セグメント情報

在外連結子会社及び在外支店等がないため該当項目はありません。

（3）国際業務経常収益

国際業務経常収益が連結経常収益の 10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

平成21年3月期 第1四半期 決算説明資料

1. 損益の状況（単体）

經常収益は、中小企業向けや住宅ローンを中心とした貸出金の増加による資金運用収益の増加等により、前年同期比1億72百万円増収の31億57百万円となりました。

經常利益は、預金利息の増加等により、前年同期比1億15百万円減益の5億99百万円となり、銀行本業の実質的な利益を示すコア業務純益は、前年同期比67百万円減益の6億41百万円となりました。

四半期純利益は、前年同期比2億25百万円増益の3億17百万円となりました。

(単位：百万円)

	当四半期 21年3月期第1四半期 (A)	前年同四半期 20年3月期第1四半期 (B)	比較 (A)-(B)	(参考) 20年3月期
經常収益	3,157	2,985	172	13,783
業務粗利益	2,280	2,479	△198	9,697
(除く国債等債券関係損益)	(2,391)	(2,477)	(△86)	(9,832)
資金利益	2,373	2,403	△30	9,558
役務取引等利益	18	73	△55	274
その他業務利益	△111	1	△112	△134
うち国債等債券関係損益	△111	1	△112	△134
経費（除く臨時処理分）	1,750	1,769	△19	6,854
うち人件費	1,027	1,070	△42	4,108
うち物件費	642	599	43	2,458
うち税金	79	99	△19	287
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	530	710	△179	2,843
コア業務純益（注）	641	708	△67	2,977
①一般貸倒引当金繰入額	37	—	37	309
業務純益	492	710	△217	2,533
臨時損益	106	4	102	△831
②うち不良債権処理額	△22	—	△22	1,778
貸出金償却	—	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	△36	—	△36	1,694
偶発損失引当金繰入額	13	—	13	21
その他の債権売却損等	—	—	—	63
うち株式等関係損益	145	8	136	1,275
經常利益	599	714	△115	1,701
特別損益	20	△485	506	△582
税引前四半期（当期）純利益	620	228	391	1,119
税金費用	302	136	166	566
四半期（当期）純利益	317	92	225	553

(注) コア業務純益 = (業務純益) + (一般貸倒引当金繰入額) - (国債等債券関係損益)

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)

平成 20 年 6 月末の「金融再生法開示債権 (単体)」は 14,313 百万円となり、総与信に占める割合は 3.63%となりました。

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	平成 20 年 6 月末	平成 19 年 6 末	平成 20 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,278	3,421	4,978
危険債権	7,601	7,520	7,630
要管理債権	1,434	1,389	1,424
合 計	14,313	12,330	14,033
総与信に占める開示債権額の割合	3.63%	3.26%	3.59%

(注) 上記の四半期末(平成 20 年 6 月末)の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なるため計数は連続しておりません。

- 平成 20 年 6 月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年 3 月末時点における債務者区分(※)をベースとし、同年 3 月末から 6 月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、平成 20 年 6 月末残高にて開示しております。
- 平成 20 年 6 月末の「要管理債権」の金額は、同様に同年 3 月末時点における「要管理債権」をベースとし、同年 3 月末から 6 月末までに新たに「要管理債権」となった貸出債権、および回収状況ならびに債務者区分の変更を勘案し、平成 20 年 6 月末残高にて開示しております。

※ 債務者区分との関係

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)
- 危険債権 (破綻懸念先の債権)
- 要管理債権 (要注意先のうち、元本又は利息の支払が 3 ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

3. 自己資本比率 (国内基準)

平成 20 年 9 月末の単体自己資本比率は 10.9%程度、単体 Tier I 比率は 9.5%程度を予想しております。
連結自己資本比率は 10.9%程度、連結 Tier I 比率は 9.5%程度を予想しております。

	平成 20 年 9 月末 (予想値)	(参考) 平成 20 年 3 月末 (実績)
【単体】自己資本比率	10.9%程度	10.93%
うち Tier I 比率	9.5%程度	9.52%
【連結】自己資本比率	10.9%程度	10.99%
うち Tier I 比率	9.5%程度	9.57%

(注) 上記予想値は、経営環境他に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

○ 評価差額

（単位：百万円）

（参考）（単位：百万円）

	平成20年6月末				平成19年6月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	68,736	90	3,440	3,349	68,994	5,897	6,861	963	64,431	△252	3,089	3,342
株式	14,021	2,143	3,292	1,148	9,007	6,455	6,499	43	8,880	1,275	2,718	1,443
債券	38,609	△685	112	797	44,323	△442	49	491	39,216	△63	368	432
その他	16,105	△1,367	35	1,403	15,663	△115	312	428	16,334	△1,464	2	1,467

- (注) 1. 平成20年6月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
また、平成20年3月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年3月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

5. デリバティブ取引（単体）

該当ございません。

6. 預金・貸出金の残高（単体）

(1) 預金の状況

平成20年6月末の預金残高は、453,608百万円（前年同期比+9,688百万円 2.18%増）となりました。

	平成20年6月末		平成19年6月末	平成20年3月末	
	(単位：百万円)			(参考)	(単位：百万円)
預金（末残）	453,608		443,920	445,680	
うち個人預金	329,567		318,351	322,473	

(2) 貸出金の状況

平成20年6月末の貸出金残高は、393,359百万円（前年同期比+17,205百万円 4.57%増）となりました。

	平成20年6月末		平成19年6月末	平成20年3月末	
	(単位：百万円)			(参考)	(単位：百万円)
貸出金（末残）	393,359		376,154	389,392	
うち中小企業等向け貸出金	360,537		340,024	356,240	
うち消費者ローン	86,907		73,449	84,048	
うち住宅ローン	84,067		69,910	81,091	

以上